

館林衛生施設組合地球温暖化対策実行計画（事務事業編）
における令和6年度の実績報告

令和8年1月

館林衛生施設組合

■ 温室効果ガス削減目標

『館林衛生施設組合地球温暖化対策実行計画（事務事業編）』では、館林衛生施設組合（以下、「当組合」といいます）が実施している事務事業に関し、省エネルギー・省資源などの取り組みを推進し、2023（令和5）年度から2027（令和9）年度までの5年間について、温室効果ガスの排出量の削減目標を次のとおり設定しています。

目標	2027（令和9）年度までに、基準年度2019（令和元）年度比 31.5% 削減
----	---

■ 令和6年度温室効果ガス排出量

当組合が行う事務事業から排出される温室効果ガス排出量の2024（令和6）年度の実績は、基準年度（令和元年度）と比較して**42.0%減少**となり、目標（基準年度比で17.6%以上の削減）を達成いたしました。

活動区分別および温室効果ガス別の排出量実績は次のとおりです。

活動区分別2024（令和6）年度温室効果ガス排出量実績

活動の区分		基準年度 2019（令和元）年度		令和6年度実績	増減比率
		排出量（t-CO ₂ ）		排出量（t-CO ₂ ）	
燃料の使用	A重油	588	⇒	0	▲100%
	灯油	61	⇒	91	49.2%
	軽油	5	⇒	8	60%
	LPガス	0.02	⇒	0	▲100%
	ガソリン	4	⇒	1	▲75%
他人から供給された電気の 使用		2,295	⇒	1,308	▲43.0%
自動車の走行		0.2	⇒	0.1	▲50%
廃棄物の焼却	連続燃焼式	461	⇒	365	▲20.8%
	廃プラ	2,044	⇒	1,467	▲28.2%
	汚泥	147	⇒	0	▲100%
し尿の処理	高負荷脱窒 素処理	26	⇒	24	▲7.7%
自動車用エアコンの使用		0.1	⇒	0.1	±0
合計		5,631	⇒	3,264	▲42.0%

※小数点以下を四捨五入している部分があるため、必ずしも各項目の和にならない。

■ 温室効果ガス排出量 各年目標値比較表



■ 総評

令和6年度実績においては、目標としていた削減率よりも大幅に削減する結果となりました。

削減の大きな要因としては、館林環境センターにおける基幹的設備改良工事(令和3年度～令和4年度)において、乾燥焼却設備の撤去や主要設備における省エネ対応機器への更新を実施したことです。このことにより、汚泥の焼却及び燃料となる重油の使用がなくなったほか、消費電力の削減につながりました。また、たてばやしクリーンセンター及びいたくらリサイクルセンターに排出される家庭ごみの廃プラ量の減少に伴い、廃プラ量の焼却量が減少したことが挙げられます。

温室効果ガス排出の要因は廃プラの焼却と電気の使用が大部分を占めているため、今後は更なる地球温暖化対策に寄与することを目的とし、省エネルギー化・省資源化・廃棄物の減量化など地球温暖化の防止にむけた取組を推進して参ります。